

筑波大学開学 30 周年（創基 131 年）記念

附属図書館貴重図書特別展報告

9月29日から10月10日まで、中央図書館において特別展が開催された。和書・漢籍・洋書の貴重図書の中から、筑波大学および附属図書館のこれまでの歩みをふりかえるにふさわしい、貴重な資料を一般に公開したもので、会期中は学内外から1,243名の観覧者が訪れた。



説明に聞き入る北原学長一行



展示資料を観覧中の北原学長、林附属図書館長ら



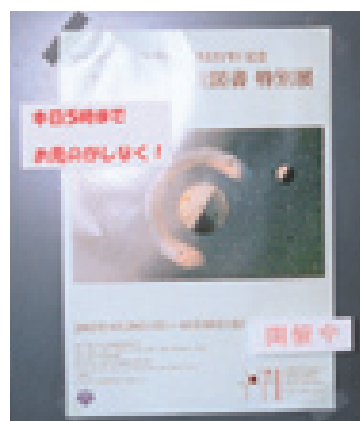
徳永事務局長に説明する芳賀教授



電子展示風景（鯉絵）



多数の観覧者でにぎわう展示室



最終日ポスター（最終日入館者204名）